

## 狂犬病予防注射についての説明

- ① 飼い主は、「狂犬病予防法」により、生後 91 日以上の犬に、毎年 1 回のワクチン接種が義務づけられています。違反者には処罰規定があります。
- ② 狂犬病は犬を予防すれば人も防げるので、人間を狂犬病から守るためにこの予防注射は行われています。
- ③ 狂犬病は発病すれば人も動物も 100%死亡する大変恐ろしい病気です。
- ④ 狂犬病は世界中で発生しています。我が国は数少ない狂犬病清浄国のひとつですが、安心はしてられません。
- ⑤ 予防注射の常として、まれにショックをおこし、最悪の場合死亡することがあります。狂犬病予防注射も例外ではありません。  
(社団法人大阪府獣医師会)